



2022年度 第2回 家庭教育講座 カウンセラーからのこころのお話

「いろんな表現<香り>をこころのエネルギーに…」

～上橋菜穂子『香君』(文藝春秋出版)のお話をヒントに～

日時 9月15日(木)13時30分～15時(お話) 15時～16時30分(個別相談)

場所 多目的教室1 (管理棟3階)

講師 礒貝京子 (本校専任カウンセラー)

今年の夏は暑かったですね。体も心も疲れが出てくる時ではありますが、私たちが「さあ、頑張ってみようかな」と思う時は、どんな時でしょうか？

「お子さんや〇〇さんのために頑張らなくて」「仕事や〇〇を頑張らない」と思われる方もいらっしゃると思います。また、心の中で、「私は好きだから」「自分にとって意味があるからやってみよう」と、ご自身の心とのつながりの中で、頑張ろうと前向きになることもあるのではないのでしょうか。私たちは、外側との他者や社会とのつながりと同じように、自分の心とのつながりもとても大事で、それが心のエネルギーに繋がると 생각합니다。

しかし、頑張りたいけど、「寂しいなあ」「辛いなあ」と思うことがあるかもしれません。上橋菜穂子さんの『香君』の中に、「生き物はみな、寂しさを抱えている。だから、いつも<香りの声>を発しているのではなからうか。自分では気づかなくとも、我が身から絶えず<香りの声>を発してしまうのでは…」という文が出てきます。

私たちは、1人1人が違うから自分だけの生き方があるのですが、反面孤独な面もあります。ここでは、孤独や寂しさゆえに、香りを発する意味が描かれています。私たちにとっての香りは、文字通り、「香り」の場合もあるかと思いますが、言葉だったり、表情だったり、自分でも意識していない行動に表れているのかもしれない。そして、それは、思春期のお子さんの場合、もっとわかりにくいこともあるかと思っています。

ご自身やお子さんを含めた周りの人の<香り>にどのように理解し関わっていったらいいのか、それが、心のエネルギーにどのように繋がっていくのかについて、今回は、上橋菜穂子さんの物語をヒントにお話したいと思います。

礒貝京子 (臨床心理士) 保育士を6年経験した後、臨床心理学を大学院で学ぶ。

教育臨床・病院臨床で幼少期から老年期までのカウンセリングを行い、
大学や専門学校の非常勤講師を経て、2009年より本校専任カウンセラー。

*参加ご希望(また個別相談ご希望)の方は下記の用紙を担任に提出してください。(9月13日迄)

個別相談は先着順で、おひとり30分程度です。相談の申込がいっぱいになった場合は、別の日を設定します。

個別相談のお申し込みはお電話でも可能です。0798-47-6436(学校代表)

換気をしながら感染対策をして行います。入口で手指消毒・非接触体温計にて計測させていただきます。

-----切り取り線-----

2022年第2回家庭教育講座申込用紙

参加者氏名 () 参加人数 () 名

個別相談 希望します 希望しません (どちらかに○をつけてください)

生徒氏名 中学・高校 () 年 () 組 ()

* 提出期限 9月13 (火)